

防災ガイドブック















disaster prevention guidebook

命を守るために

すぐ持ち出せる所に保管してください



目次

 洪水ハザードマップについて・・・1	 平成16年台風23号記録・・・9～12	 地域防災・・・・・・・・・・・・・・20
 避難所・救急病院一覧・・・・・・・・・・2	 風水害・・・・・・・・・・・・・・13～14	 情報伝達・・・・・・・・・・・・・・21
 洪水ハザードマップ(北部)・・・3～4	 土砂災害・・・・・・・・・・・・・・15	 わが家の防災メモ・・・・・・・・・・22
 洪水ハザードマップ(南部)・・・5～6	 地震・・・・・・・・・・・・・・16～18	 非常持出品・連絡先・・・・・・裏表紙
 洪水ハザードマップ(詳細)・・・7～8	 ボランティア・・・・・・・・・・・・・・19	



洪水ハザードマップについて

三木町浸水想定区域図（ハザードマップ）

この地図は、三木町内を流れる最大の川である新川が、大雨などにより増水し堤防が決壊した場合に想定される浸水範囲とその深さを図示したものに、平成16年台風23号襲来時の浸水区域を重ね、その上に土砂災害危険箇所や各地区の避難所、関連施設などを表示したものです。

新川浸水想定区域

新川浸水想定区域図は、新川が氾濫したときにどのような状況になるかをあらかじめ知っておくことにより、洪水の被害を少しでも少なくするため、浸水が想定される区域と浸水の深さを示したもので、平成18年に香川県が公表した資料です。
(計画雨量:新川流域2日総雨量345mm)

平成16年台風23号浸水域

平成16年台風23号襲来時に浸水した地域を、三木町調査資料及び各自主防災組織・消防団等へのアンケート、聞き取り調査により作成したものです。

新川浸水想定区域図（高松市も含む）



浸水想定区域は浅いほうから黄→緑→青→濃い青で着色されています。

平成16年台風23号浸水域は青色の斜線で囲まれています。



重ね合わせて表示しています。



※さらに土砂災害が起きる危険性のある区域をあわせて表示しています。

シミュレーションでは新川水系吉田川、鴨部川等、他の河川の氾濫や想定を超える大雨、内水による氾濫などを考慮していませんので、浸水想定区域となっていない区域でも浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。自宅及び周辺の地形や水路などの状況を把握しておくことが大切です。



避難所・救急病院一覧

避難所一覧

No.	名 称	収 容 区 域	電話番号	掲載頁
1	文化交流プラザ	鹿伏・氷上・平木	898-9222	4・7
2	平井小学校	平木・鹿伏・井上	898-0713	4・7
3	老人福祉会館あけぼの荘	井上・池戸北部	898-7650	3
4	保健センター	井上・池戸北部	898-5658	3・7
5	平井幼稚園池戸分園	池戸南部	898-0290	4・7
6	池戸商工センター	池戸南部	891-0876	4・7
7	鹿庭コミュニティセンター	鹿庭	899-1138	5
8	神山公民館	鹿庭	899-0330	5
9	旧神山小中学校	奥山	899-0254	6
10	津柳地区コミュニティセンター	奥山	899-0013	6
11	田中公民館	田中・朝倉	898-0504	4
12	田中小学校	田中・朝倉	898-0501	4
13	農業者トレーニングセンター	朝倉・小蓑・田中	898-8212	5
14	農村環境改善センター	鹿伏・氷上・平木	891-3318	4・7
15	福祉センター	氷上・鹿伏	891-3317	4・7
16	氷上小学校	氷上・上高岡	898-0710	4
17	三木中学校	平木・鹿伏・氷上	898-1547	4・7
18	地域交流センター	氷上・上高岡	891-1321	4
19	B & G海洋センター	鹿庭・上高岡	899-1155	4
20	屋内ゲートボール場	鹿庭・上高岡	899-1155	4
21	ウォーキングセンター	下高岡	891-1789	4・8
22	白山文化センター	下高岡	898-4708	4・8
23	白山教育集会所	下高岡	898-9116	4・7
24	白山小学校	井戸・下高岡	898-0257	4
25	井戸教育集会所	井戸	898-3851	4
26	井戸公民館	井戸	898-6404	4

救急病院一覧

No.	名 称	診 療 科	電話番号	掲載頁
1	香川大学医学部附属病院	20診療科	898-5111	3
2	讃陽堂松原病院	内科・消化器科・循環器科・整形外科 小児科・リハビリテーション科・麻酔科	898-0620	4・7
3	榎村病院	内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科 肛門科・麻酔科・リハビリテーション科	898-1431	4・7

マップの 使い方

あなたが住んでいる地区において、浸水やがけ崩れなどの大雨による災害が発生しやすい場所を日頃から把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意して危険を感じたら早めの自主的な避難を心がけましょう。「いざ」というときに備えてあなたの家から避難所までの経路、家族の連絡先などを書き込んで、忘れない場所に保管しておきましょう。

マップの 見方

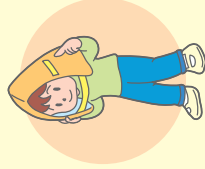
三木町を大きく南北にわけて、3・4ページに北部、5・6ページに南部を示しています。特に新川浸水想定区域については、7・8ページに大縮尺のものを示しています。あなたの地域の状況、避難所への経路などを確認しましょう。避難所及び救急病院は地図上に番号で示しています。上記の表を参照してください。

洪水ハザードマップ(北部)



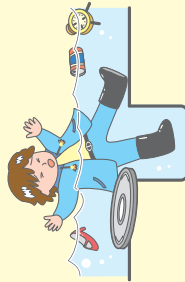
避難時の心得

動きやすく安全な服装でヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、運動靴をはきヒモをしっかり結び、サンダルや長靴は厳禁。



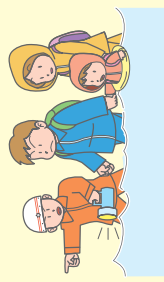
足下に注意して

水面下にはマンホールや側溝、浮遊物など危険がいっぱい。杖などで一歩ずつ確認しながら歩く。



高齢者や子どもにも配慮

必ず二人以上で避難する。高齢者や子どもは背負う、浮輪をつけるなど特に気をつける。



水の深さに注意

歩行可能な水深は男性70センチ、女性50センチが目安。腰が浸かる時は高所で助けを待つ。

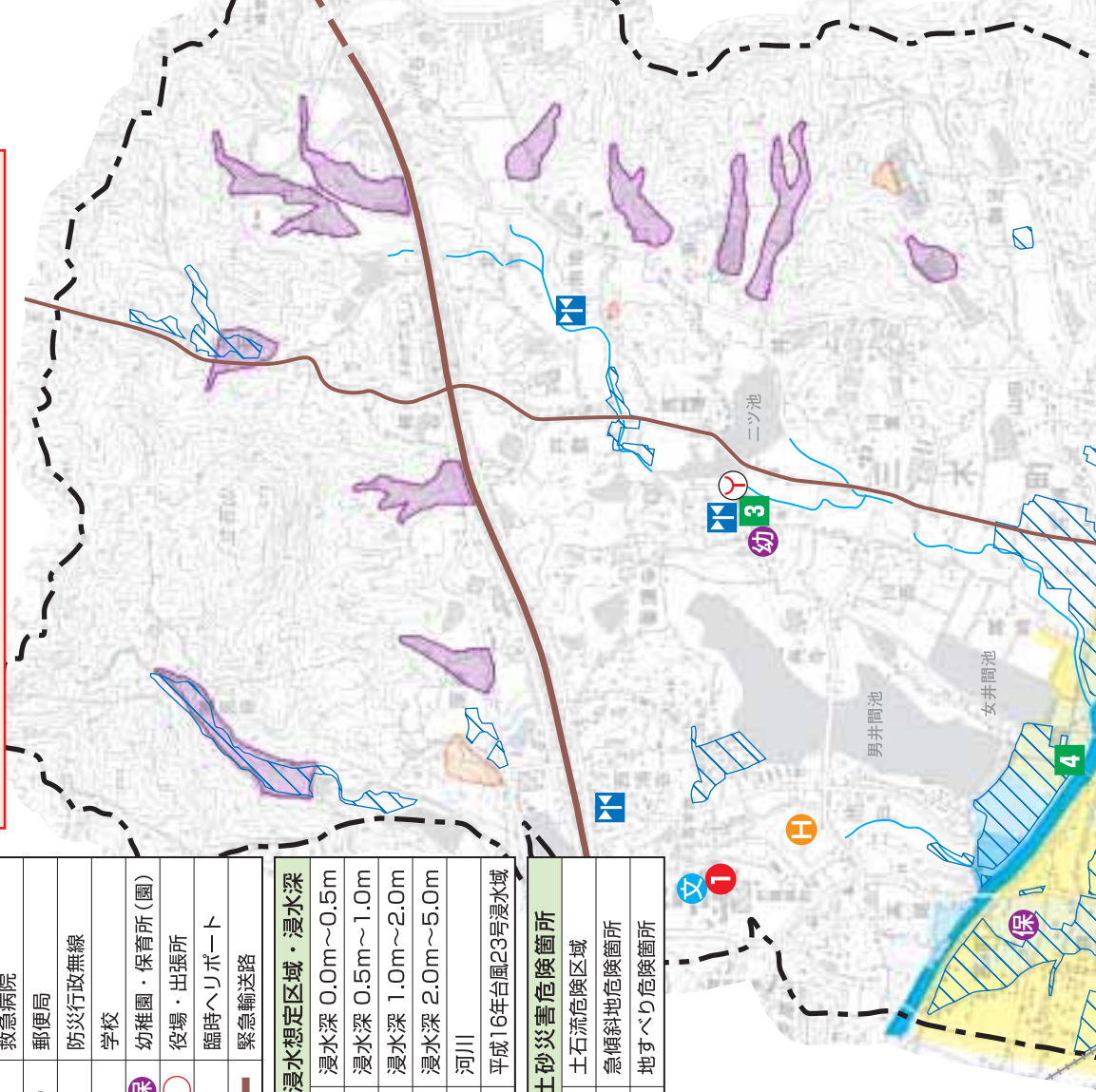


避難所・関連施設	
No.	避難所
①	消防署・消防屯所
②	警察・駐在所
③	救急病院
④	郵便局
⑤	防災行政無線
⑥	学校
⑦	幼稚園・保育所(園)
⑧	役場・出張所
⑨	臨時ヘリポート
⑩	緊急輸送路

新川浸水想定区域・浸水深	
■	浸水深 0.0m~0.5m
■	浸水深 0.5m~1.0m
■	浸水深 1.0m~2.0m
■	浸水深 2.0m~5.0m
■	河川
■	平成16年台風23号浸水域

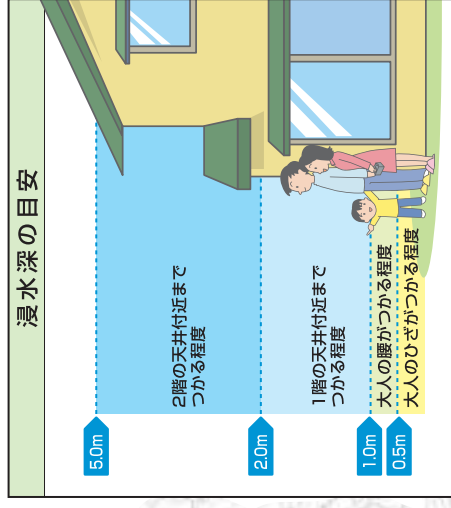
土砂災害危険箇所	
■	土石流危険区域
■	急傾斜地危険箇所
■	地すべり危険箇所

浸水が予想される区域内の避難所は、浸水するおそれがありますので避難には十分な注意が必要です。また、避難所まで避難する余裕が無いときは、十分な高さのある建物や高台に避難してください。



避難所一覧		
No.	名称	電話番号
1	文化交流プラザ	898-9222
2	平井小学校	898-0713
3	老人福祉会館あけぼの荘	898-7650
4	保健センター	898-5658
5	平井幼稚園池戸分園	898-0290
6	池戸商工センター	891-0876
11	田中公民館	898-0504
12	田中小学校	898-0501
14	農村環境改善センター	891-3318
15	福祉センター	891-3317
16	氷上小学校	898-0710
17	三木中学校	898-1547
18	地域交流センター	891-1321
19	B&G海洋センター	899-1155
20	屋内ゲートボール場	899-1155
21	ウォーキングセンター	891-1789
22	白山文化センター	898-4708
23	白山教育集会所	898-9116
24	白山小学校	898-0257
25	井戸教育集会所	898-3851
26	井戸公民館	898-6404

救急病院一覧		
No.	名称	電話番号
1	香川大学医学部附属病院	898-5111
2	讃陽堂松原病院	898-0620
3	櫻村病院	898-1431





8 老人福祉会館あけぼの荘



11 田中公民館



12 田中小学校



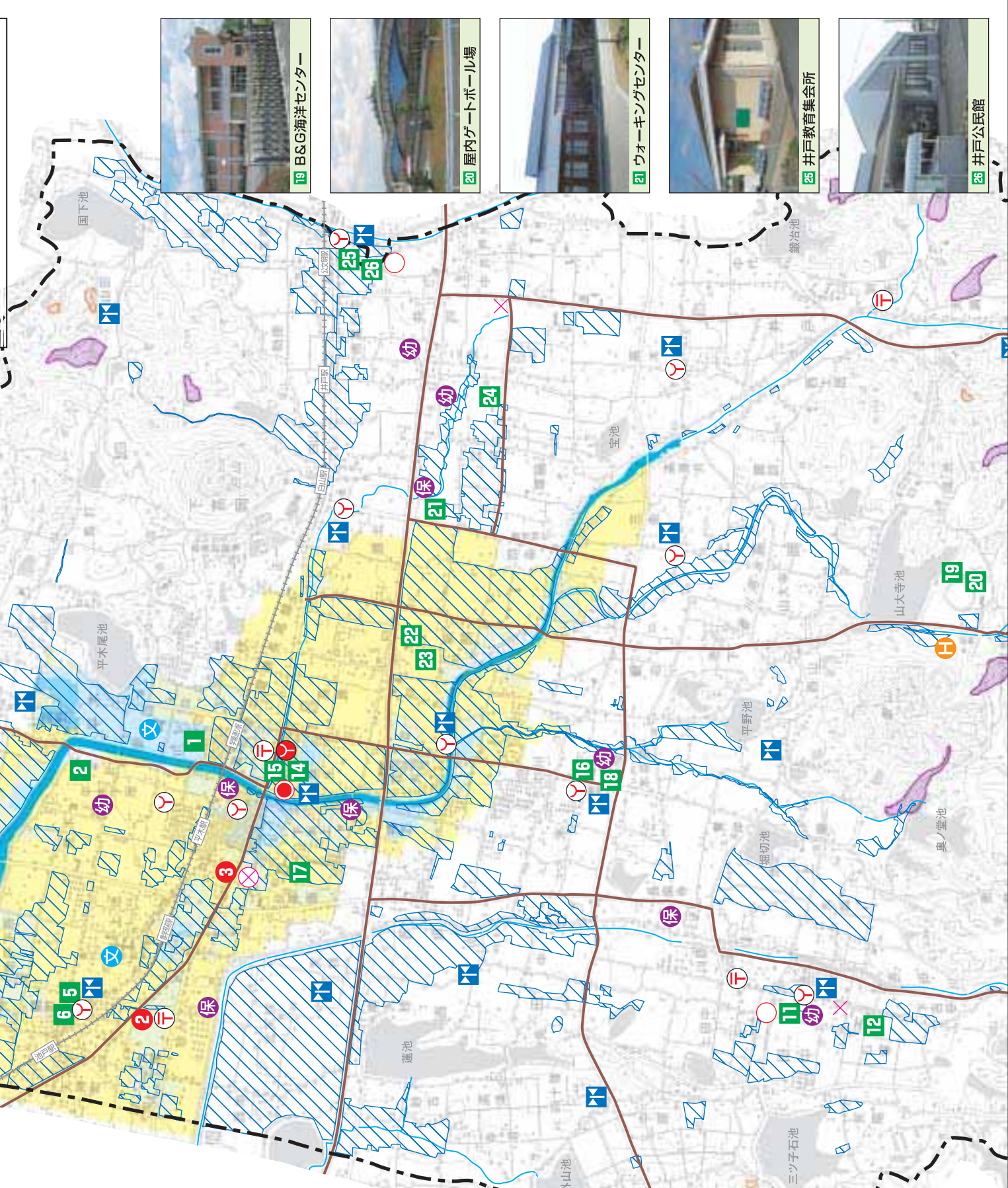
16 水上小学校



18 地域交流センター



24 白山小学校



19 B&C海洋センター



20 屋内グレートボール場



21 ウォーキングセンター



25 井戸教育集会所



26 井戸公民館

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の承認を得た地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総機、第58号)

洪水ハザードマップ(南部)



13 農業者トレーニングセンター



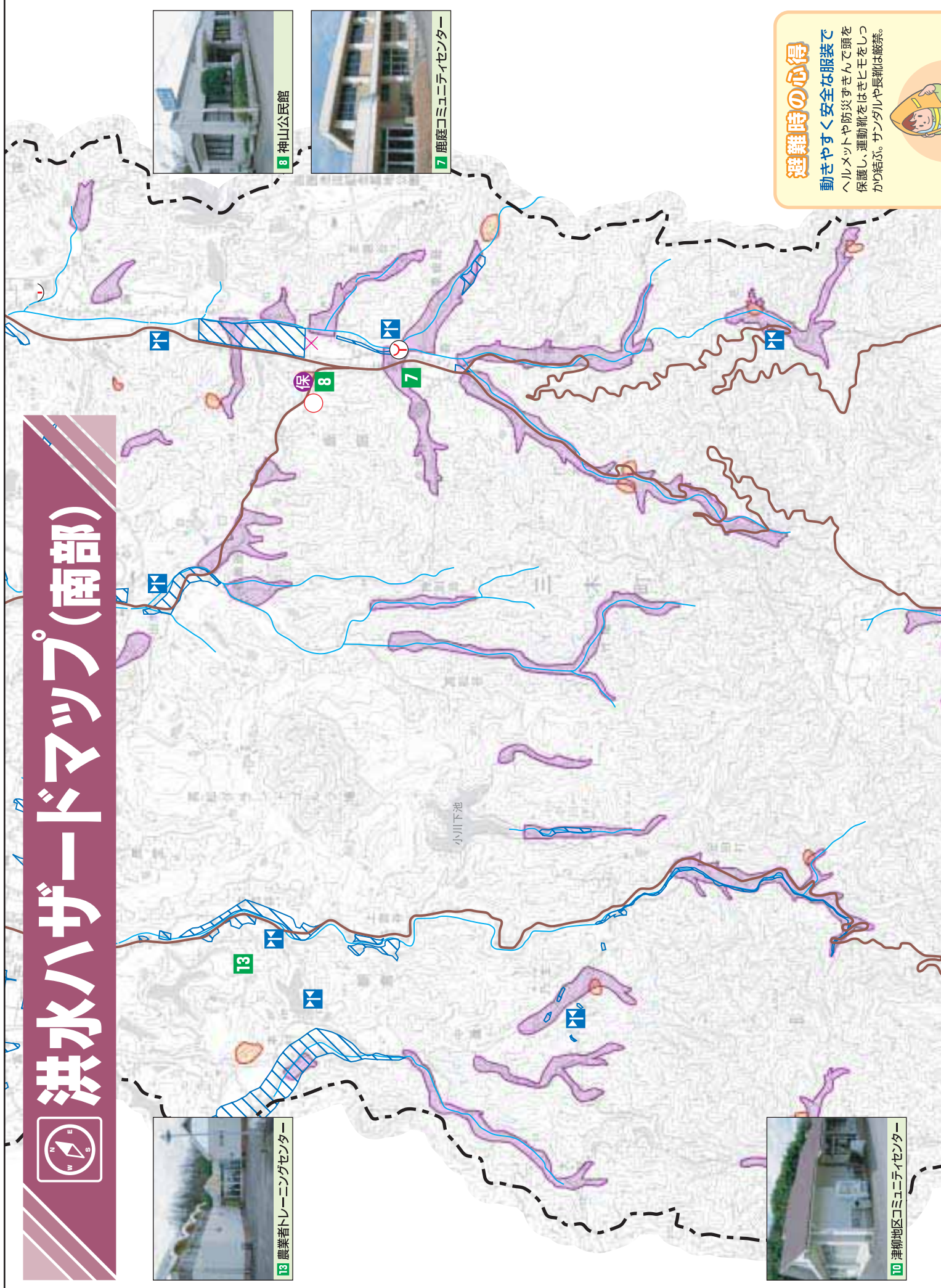
8 神山公民館



7 鹿庭コミュニティセンター



10 津柳地区コミュニティセンター



避難時の心得
動きやすく安全な服装でヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、運動靴をはきヒモをしっかり結び、サンダルや長靴は厳禁。





9 旧神山小中学校

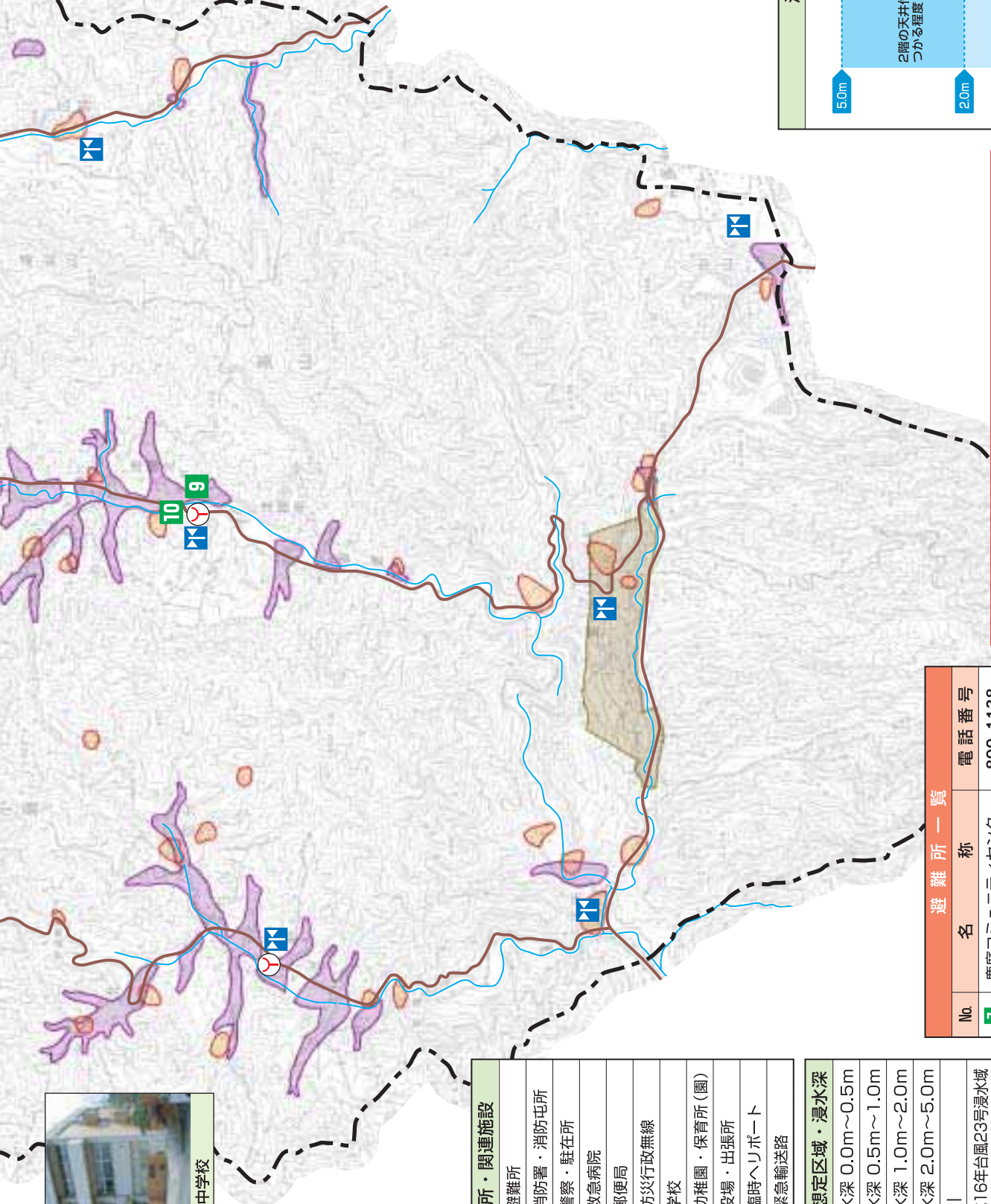
避難所・関連施設	
No.	避難所
1	消防署・消防屯所
2	警察・駐在所
3	救急病院
4	郵便局
5	防災行政無線
6	学校
7	幼稚園・保育所(園)
8	役場・出張所
9	臨時ヘリポート
10	緊急輸送路

新川浸水想定区域・浸水深	
浸水深 0.0m~0.5m	
浸水深 0.5m~1.0m	
浸水深 1.0m~2.0m	
浸水深 2.0m~5.0m	
河川	
平成16年台風23号浸水域	

土砂災害危険箇所	
土石流危険区域	
急傾斜地危険箇所	
地すべり危険箇所	

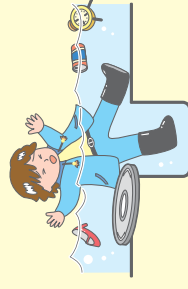
避難所一覧			
No.	名称	電話番号	
7	鹿庭コミュニティセンター	899-1138	
8	神山公民館	899-0330	
9	旧神山小中学校	899-0254	
10	津柳地区コミュニティセンター	899-0013	
11	農業者トレーニンングセンター	898-8212	

浸水が予想される区域内の避難所は、浸水するおそれがありますので避難には十分な注意が必要です。また、避難所まで避難する余裕が無いときは、十分な高さのある建物や高台に避難してください。



足下に注意して

水面下にはマンホールや剛溝、浮遊物など危険がいっぱい。杖などで一歩ずつ確認しながら歩く。



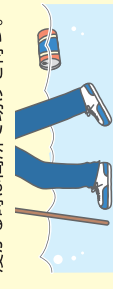
高齢者や子どもに配慮

必ず二人以上で避難する。高齢者や子どもは背負う、浮輪をつけるなど特に気をつける。

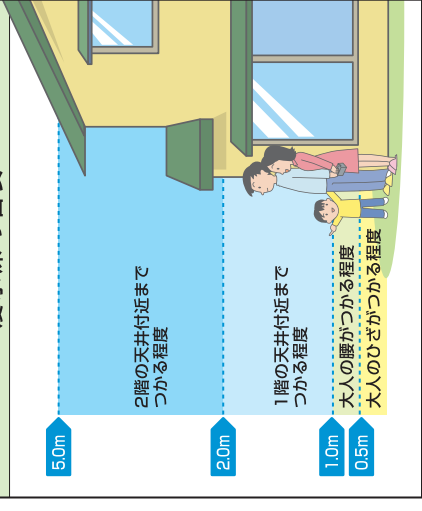


水の深さに注意

歩行可能な水深は男性70センチ、女性50センチが目安。腰が浸かる時は高所で助けを待つ。

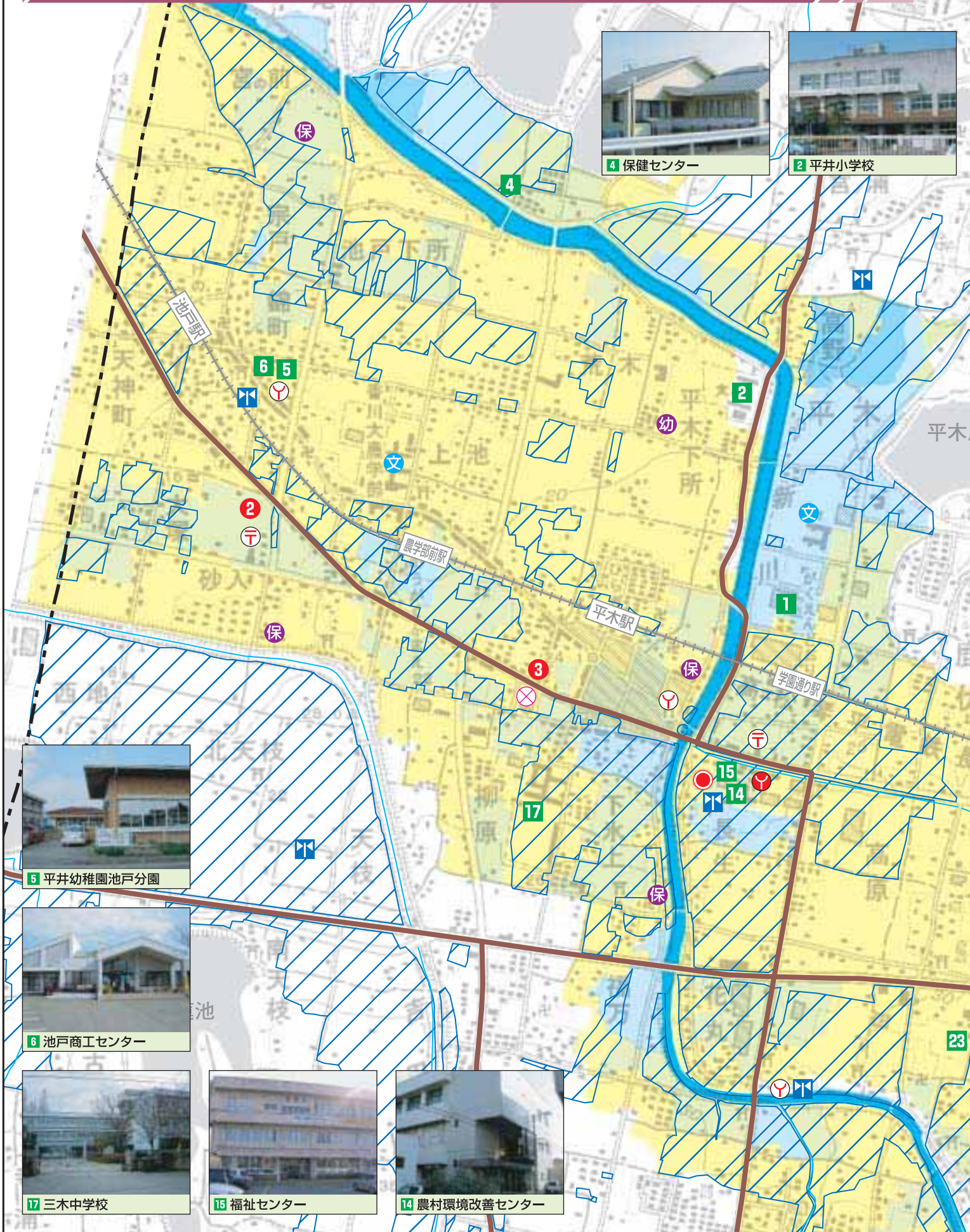


浸水深の目安





洪水ハザードマップ(詳細)



浸水が予想される区域内の避難所は、浸水するおそれがありますので避難には十分な注意が必要です。
また、避難所まで避難する余裕が無いときは、十分な高さのある建物や高台に避難してください。

新川浸水想定区域・浸水深

	浸水深 0.0m~0.5m
	浸水深 0.5m~1.0m
	浸水深 1.0m~2.0m
	浸水深 2.0m~5.0m
	河川
	平成16年台風23号浸水域

避難所・関連施設	
No.	避難所
	消防署・消防屯所
	警察・駐在所
	救急病院
	郵便局
	防災行政無線
	学校
	幼稚園・保育所(園)
	役場・出張所
	臨時ヘリポート
	緊急輸送路

土砂災害危険箇所	
	土石流危険区域
	急傾斜地危険箇所
	地すべり危険箇所



1 文化交流プラザ



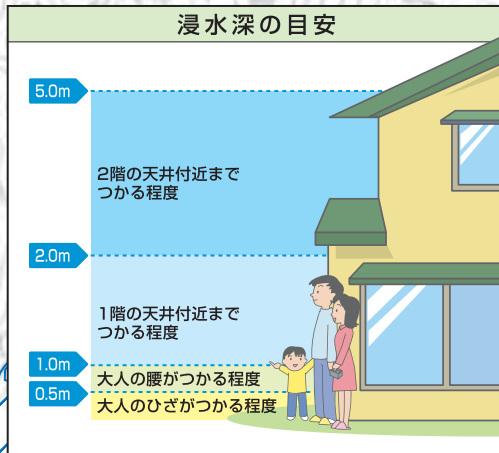
21 ウォーキングセンター



22 白山文化センター



23 白山教育集会所



避難所一覧		
No.	名称	電話番号
1	文化交流プラザ	898-9222
2	平井小学校	898-0713
4	保健センター	898-5658
5	平井幼稚園池戸分園	898-0290
6	池戸商工センター	891-0876
14	農村環境改善センター	891-3318
15	福祉センター	891-3317
17	三木中学校	898-1547
21	ウォーキングセンター	891-1789
22	白山文化センター	898-4708
23	白山教育集会所	898-9116

救急病院一覧		
No.	名称	電話番号
2	讃陽堂松原病院	898-0620
3	榎村病院	898-1431

避難時の心得

動きやすく安全な服装で
ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、運動靴をはきヒモをしっかり結ぶ。サンダルや長靴は厳禁。



足下に注意して
水面下にはマンホールや側溝、浮遊物など危険がいっぱい。杖などで一歩ずつ確認しながら歩く。



高齢者や子どもに配慮
必ず二人以上で避難する。高齢者や子どもは背負う、浮輪をつけるなど特に気をつける。



水の深さに注意
歩行可能な水深は男性70センチ、女性50センチが目安。腰が浸かる時は高所で助けを待つ。





平成16年台風23号記録

台風23号は平成16年10月13日9時にマリアナ諸島近海で発生し、16日15時には超大型で非常に強い勢力となる。20日6時に中心気圧950hPa、最大風速40m/sの大型で強い勢力になって九州の南海上を北東に進み、朝には鹿児島県や宮崎県などが暴風域に入り、西日本全域が強風域に入った。

その後、20日13時頃、中心気圧955hPa、最大風速40m/sの勢力で、高知県土佐清水市付近に上陸して高知県沿岸を進み、室戸市付近に再上陸。引き続き大型で強い勢力で大阪府南部に再上陸した台風は、勢力を維持したまま近畿地方、東海地方に進んだ。

台風と前線は広い範囲で大雨をもたらし、台風が西日本に上陸した20日は、九州地方から関東地方にかけての多くの地点で、これまでの日降雨量の記録を上回る大雨となり本町にも甚大な被害をもたらした。(最低気圧値940hPa最大風速値43m/s)(防災科学技術研究所HPより)

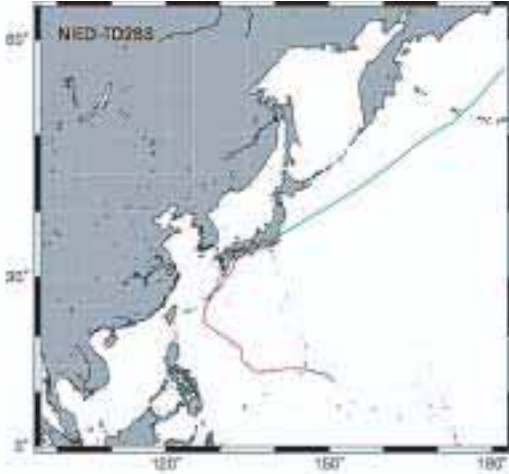
避難状況		
避難所	世帯数	人数
文化交流プラザ	3	11人
平井小学校	40	110
平木コミュニティ会館	1	1
老人福祉会館あけぼの荘	2	4
池戸商工センター	10	29
鹿庭コミュニティセンター	2	4
神山公民館	10	30
田中公民館	30	80
田中小学校	35	101
農村環境改善センター	2	2
福祉センター	2	2
氷上小学校	4	11
三木中学校	29	83
ウォーキングセンター	2	4
白山小学校	22	63
井戸公民館	2	5
地域交流センター	17	50
B&G海洋センター	3	10
合計	216	600人

施設などの被害			
区分		被害(件数)	被害額(千円)
公共土木	河川	29	231,328
	道路	71	357,407
	橋梁	4	105,000
	小計	104	693,735
農地・農業用施設	田畑	284	554,108
	農道	92	172,079
	農道橋	9	94,475
	水路	150	381,722
	ため池	55	258,713
	その他	30	160,950
	小計	620	1,622,047
公立文教施設		13	22,652
上水道施設		15	1,265
有線放送施設		33	10,802
その他の公共施設		16	41,162
施設等被害計		801	2,391,663

主な被害状況		
区分	被害(棟)	
人的被害	なし	
住家被害	全壊	3
	半壊	0
	一部損壊	62
	床上浸水	185
	床下浸水	475



平成16年台風23号の経路



(防災科学技術研究所HPより)

気象庁より発表される台風情報

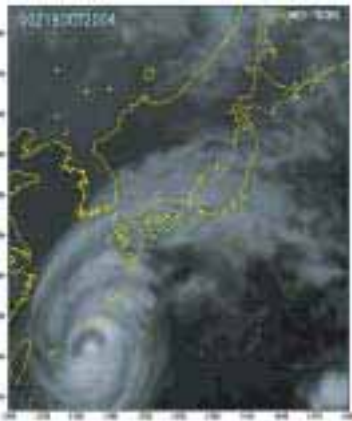
気象庁からは3時間毎に24時間先まで、6時間毎に72時間先までの台風予報が発表されています。台風が日本に近づくと、台風の位置などの情報が1時間ごとに発表されます。

台風の大きさ	風速15m/s以上の半径	
	大型(大きい)	500km以上~800km未満
	超大型(非常に大きい)	800km以上

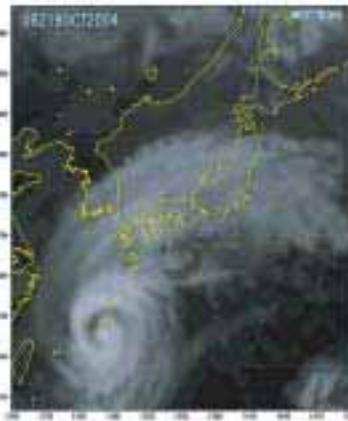
台風の強さ	最大風速	
	強い	33m/s以上~44m/s未満
	非常に強い	44m/s以上~54m/s未満
猛烈な	54m/s以上	

進路予報図で用いる用語	予報円	70%の確率で台風の中心が位置すると予想される範囲
	暴風域	平均風速で25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲
	強風域	平均風速で15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲
	暴風警戒域	台風の中心が予報円内に進んだときに暴風域に入るおそれがある範囲

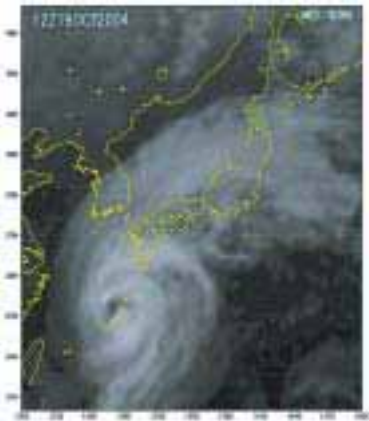
平成16年台風23号の動き



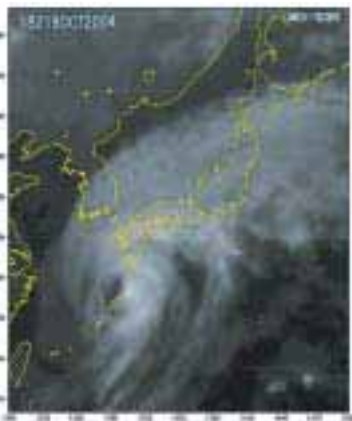
平成16年10月19日 9:00



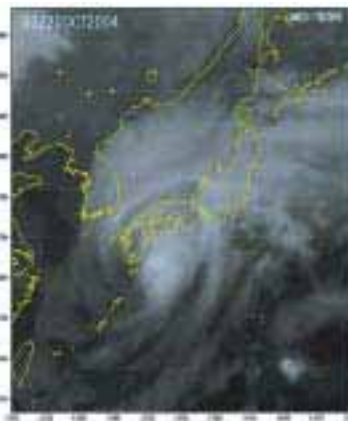
平成16年10月19日 15:00



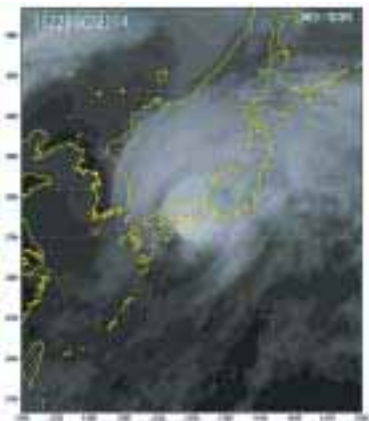
平成16年10月19日 21:00



平成16年10月20日 3:00

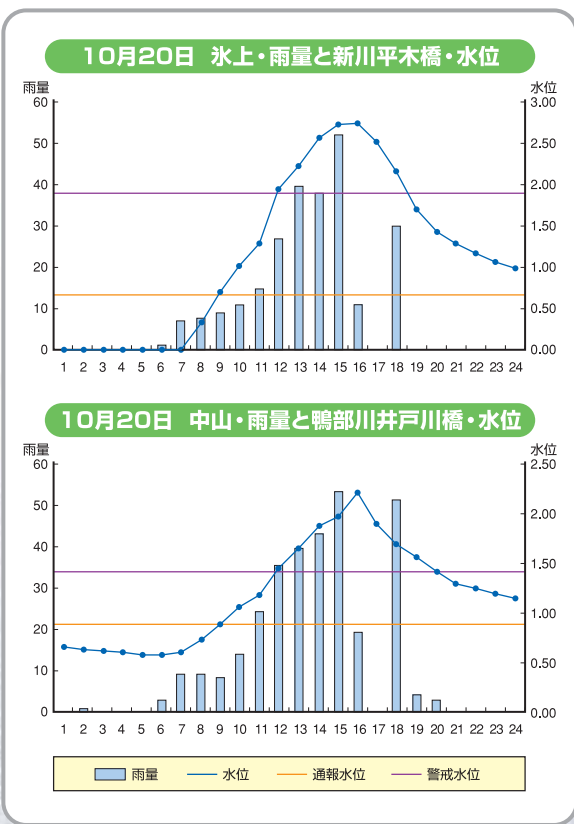


平成16年10月20日 9:00



平成16年10月20日 15:00

(防災科学技術研究所HPより)



対応経過 (抜粋)	
平成16年台風23号 (H16.10.20～)	
日時	内容
10/20(水)	8:30 全町警戒放送 (防災行政無線)
	— 町内幼小中学校休校
	9:00 町内警戒広報開始 (広報車)
	9:49 大雨・洪水・暴風・波浪警報発令 三木町水防本部設置
	11:00 第1回水防本部会 自主避難1人 (池戸商工センター)
	11:30 三木町消防団管内巡視と応急対策作業開始
	12:45 氷上・花丸・長生・福万地区に避難勧告発令 (防災行政無線・有線放送・消防車両)
	15:00 町内全域避難勧告 (防災行政無線・有線放送・消防車両) 町内全避難所開設 (28カ所)
	15:15 庁舎停電 (冠水) 避難所収容人員ピーク時約600名
	19:20 庁舎停電復旧
	21:25 大雨警報解除
	22:35 洪水警報解除
10/21(木)	22:40 第2回水防本部会
	22:42 災害対策本部設置 (水防本部から切替)
	23:45 町内全域避難勧告解除 (防災行政無線・有線放送)
	8:40 第2回災害対策本部会
	9:00 町内災害現場・浸水家屋等調査開始 災害ごみ仮集積所開設 (クリーンセンター・各小中学校運動場)
	12:00 給水活動 (本村・大畑)
	14:45 給水活動 (吉谷・足田打)
	15:00 小菘小中学校において希望者へ給水活動開始
	第3回災害対策本部会 住宅被害状況調査開始～11/1
	18:15 独居老人宅訪問開始～10/29 公共土木被害調査開始～11/19 農地・農業施設被害調査開始～11/19
	議会全員協議会
	10/22(金)
10/23(土)	給水活動 (乃生・吉谷・本村・氷代谷)
10/25(月)	第5回災害対策本部会
10/27(水)	被災証明・各種減免受付開始 第6回災害対策本部会
10/28(木)	農地・農業施設災害受付開始～11/19 水質検査開始～11/2
10/29(金)	第7回災害対策本部会 浸水世帯消毒用具貸出開始 消毒薬剤補助申請受付開始
10/30(土)	災害ごみ仮集積所追加 (三木町農村運動広場)
10/31(日)	三木中学校内災害ごみ分別作業 (三木高校生外)～10/31
	役場南駐車場清掃 (町議会議員ボランティア)～10/31
	各小学校の災害ごみ仮集積所閉鎖
11/1(月)	被災家屋判定調査実施 第8回災害対策本部会 井戸水水質検査実施
	11/2(火)
11/3(水)	七飯町長外訪問団来町 災害ごみ回収 (四条・福万)
11/19(金)	第9回災害対策本部会 災害対策本部解散

風水害

ゆとりをもって早めの避難を！

台風や豪雨の威力には計り知れないものがあり、人命や財産等に大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や水路をしっかりと把握し、日頃から気象情報には十分に注意しましょう。

大雨や台風のと きには…

●家の修理は事前に

屋根瓦のずれ、窓ガラスや外壁のひび割れ、雨どいのつまりなどを点検し、修理をしておきましょう。
また、ブロック塀や板塀も補強しましょう。



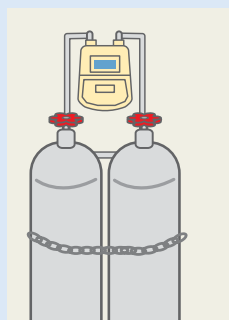
●気象情報をよく確認して

ラジオやテレビ、インターネットなどで台風の動きを確認しましょう。
そして、台風の勢力範囲に入る前に防災対策や避難準備をしましょう。



●家の周囲の安全対策

プロパンガスは針金や鎖でしっかり固定しましょう。風で吹き飛ばされやすい鉢植えなどは室内へ、不安定なアンテナも針金で固定しましょう。



●いつでも避難の準備を

日ごろから停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを準備しましょう。
また、いつでも避難できるように非常持出品を準備しておきましょう。



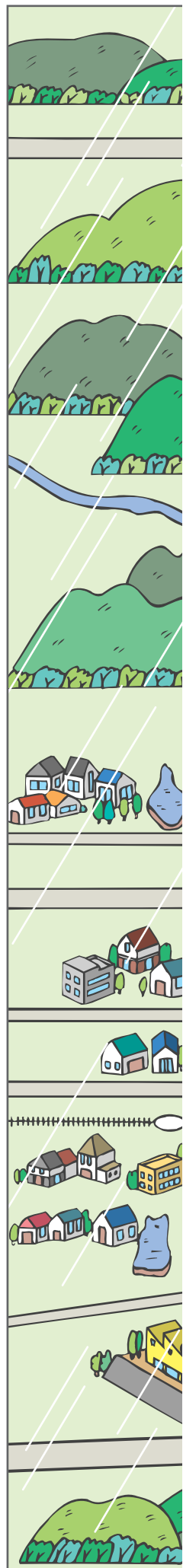
●浸水対策を万全に

床上浸水のおそれがある家では、食料・衣類など生活必需品を、水につからない高いところに移しましょう。水が入ってきそうな所には土のうなどを積んで防ぎましょう。



●避難するときの心掛け

避難するときは、二人以上ではぐれないようにロープで結び、特に子どもからは目を離さず、長い棒などを杖代わりにして水面下を確認しながら歩きましょう。



山間地

豪雨による土砂くずれ等の危険性あり。樹木の少ない地域は土石流にも注意。

キャンプ場

突然の増水や土砂災害にあう危険性が。特に上流にダムがある場合は要注意

河川の流域

豪雨や大量の流木等の滞留による越水により浸水の危険性あり。

平野部低地

川床との高低差のない低地では内水氾濫による浸水、道路の冠水の危険あり。

運転中

浸水により走行不能で動けなくなることも。浸水で孤立するおそれあり。



土砂災害

勾配の急な山や崖の多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。

1 土砂災害の種類

突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

■ 斜面崩壊 (がけ崩れ)

一瞬にして崩壊します

急な崖地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象を、斜面崩壊(がけ崩れ)といい、国内で最も件数の多い土砂災害です。一瞬にして崩れるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。



■ 土石流

猛スピードでやってきます

土石流とは、谷や斜面にたまった土・石・砂が、大雨による水とともに一気に谷を流れ下る現象です。スピードが早く破壊力も大きいため、大きな被害をもたらします。



■ 地すべり

広範囲に被害が及びます

粘土などのすべりやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水等の影響などでゆっくり動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、大きな被害をもたらします。

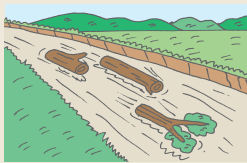


2 土砂災害の前兆現象

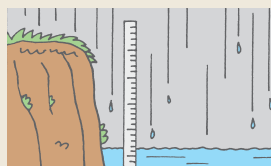
山鳴りがする



川の流が濁り、流木が混ざりはじめる



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



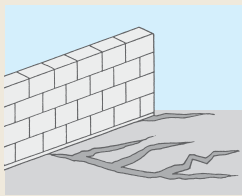
斜面から水が噴き出す



小石がバラバラ落ちてくる



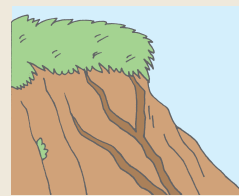
地面にひび割れができる



川や井戸水が濁る

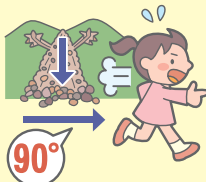


がけに割れ目が見える



土石流からの逃げ方

土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは、追いつかれてしまいます。土石流が発生する前に逃げるのが基本ですが、万が一遭遇した場合には、**土砂の流れる方向に対して直角に、少しでも高い場所へ逃げる**ようにしてください。



がけ崩れからの逃げ方

がけ崩れによる土砂は、斜面の高さの2倍の距離または50メートル程度まで届くと言われていています。前兆現象を発見したら、早めに**斜面から遠くへ逃げる**ようにしてください。



地震

三木町におこりうる2種類の地震

① プレート境界地震

プレート境界地震とは、異なるプレートが重なっている境界で、一方のプレートが他方を引きずりこんでいく運動(プレートテクトニクス)によって発生する地震です。

南海地震って？

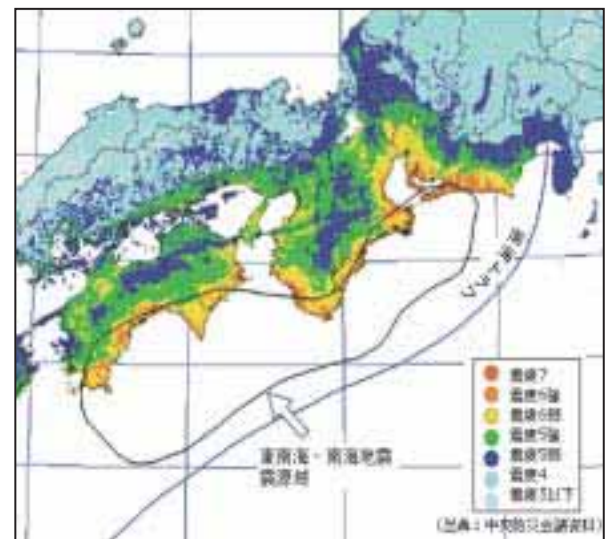
南海地震とは、ユーラシアプレートとフィリピン海プレート境界(紀伊半島・四国沖)において発生する地震をいい、周期的にM8クラスの巨大地震が発生しています。

過去の南海地震及び東南海地震との関連

年代	2000年代	1900年代	1800年代	1700年代	1600年代
南海地震	2???年	1946年 12月21日 (昭和南海地震)	1854年 12月24日 (安政南海地震)	1707年 10月28日 (宝永地震)	1605年 2月3日 (慶長地震)
東南海地震	2???年	1944年 12月7日	1854年 12月23日		
同時性	2???年	2年	32時間	同時	同時
繰り返し期間	60年+?年	92年	147年	102年	

東南海・南海地震震度分布

(東南海・南海地震が発生した時の想定震度分布)



上記のようにおよそ90～150年を周期として南海地震は発生し、前回より60年を経た現在、再び活動期に入ったと言われており、今後30年以内に発生する可能性は50%とされています。

② 活断層による直下型地震

香川県にもいくつかの活断層があります。

その中でも三木町南部の山ぎわを東西に走る長さ約24kmの長尾断層は、その活動の確実度から第一級に分類されています。

この断層は約3万年の間隔で活動し、その地震の規模はマグニチュード7.2程度とされています。

最後の活動が、平安時代かそれ以降の可能性も推定されていることから、今後30年間にこの断層の活動によって地震の発生する可能性は0%とされています。



三木町内における長尾断層(紫の点線)



地震発生 1~2分

3分

最初の激しい揺れは約1分程度

1 まず、身を守る

クッションや座布団などで頭を保護。机やテーブルの下へ。



2 すばやく火の始末

ガスやストーブの火を消し、電気器具はプラグを抜く。



3 非常脱出口の確保

玄関、窓を開けて逃げ口を確保。

揺れがおさまったら家族の安全確認

1 火元の確認

ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。もし火が出ていたら、あわてずに初期消火を。

2 家族の安全確認

倒れた家具の下敷きになっていないか確認。



3 靴または底の厚いスリッパを履く

ガラスの破片や散乱物から足を守る。



4 津波、がけ崩れの危険地域はすぐ避難

余震に注意しつつ隣近所の安全確認

1 隣近所への声かけ

けが人、行方不明者がいないかを確認する。



2 火災時には協力して初期消火

大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど近隣で協力して初期消火を。

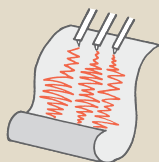


こんな現象が起こる!!

地震の震度

震度 0

地震計のみで観測でき、人体には感じない。



震度 1

屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。



震度 2

吊り下げ型の電灯や障子などがわずかに揺れる。



震度 3

電線が少し揺れ、棚の食器が音を立てることがある。



震度 4

電線が瓶などが倒れることがある。



避難までの行動マニュアル

5分

デマにまどわされず、 正確な情報を収集

1 正しい情報を聞く

ラジオ等で正確な情報を収集。役場、消防、警察、自主防災組織の情報を確認。



2 電話は緊急連絡を優先

安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル等」を活用する。(22P参照)



3 災害時要援護者を支援



10分

避難後は 助け合いの心で行動を

1 地域ぐるみで協力して応急救護の体制を

2 水・食料の確保

いざというときのために、日ごろから最低でも3日分の飲料水と食料の備蓄を。(裏表紙参照)



2 倒壊した家やその危険性のある家には 入らない

3 災害情報、被害情報の収集



4

震度 5弱

大きく揺れ、花
壺の悪い物が
こぼれること



食器類や書籍が落ち、
窓ガラスが割れること
がある。



震度 5強

テレビが台から落ち、
タンスや自動販売機が
倒れることがある。



震度 6弱

かなりの建物で、壁の
タイルや窓ガラスが破
損、落下する。



震度 6強

立っていることが出来
ず、固定していない重
い家具のほとんどが移
動、転倒する。



震度 7

耐震性の高い住宅でも、
傾いたり、大きく破損
するものがある。



ボランティア

地域ぐるみで災害時要援護者を守ろう

高齢者、乳幼児、障害者、言葉の不慣れな外国人など、災害時に自分の身を守ることが難しい人が多くいます。こうした災害時要援護者を災害から守るためには、地域一丸となって支える体制づくりが大切です

1 災害時要援護者の目線で防災環境づくり

- 避難経路は車椅子で通れるか。
- 放置自転車などの障害物はないか。
- 耳や目の不自由な人への警報や避難勧告の伝達方法はあるのか。
- 外国語での掲示や広報手段など、災害時要援護者の身になっての防災環境づくりを。
- 子どもには日ごろから災害時の心構えや過去の教訓を語り伝えるなど、防災意識を高める環境づくりを。



2 具体的な救助体制づくり

- お年寄りや乳幼児を避難させるときは、手をつなぐ、背負うなど、しっかりと保護して誘導する。
- 障害者に対しては、複数で援助するなど、災害時要援護者に対する具体的な救助体制づくりを。



3 困ったときこそ助け合い

- 災害時の混乱や被害が大きいほど、誰もが殺伐とした気持ちになりがち。そんなときこそ、助け合いの精神で。困ってる人や災害時要援護者に対して温かい思いやりと真心を。



4 復旧活動への参加をうながす

- 災害後の復旧活動へはお年寄りや子ども達にも積極的な参加をうながしましょう。何もしないことがストレスや体調を崩す原因にもなるので、目標を持たせ、毎日適度に身体を動かせるように配慮を。

災害時要援護者への対応

- 日ごろから地域のコミュニケーションを活発にして、災害時要援護者の存在に配慮を。
- 災害時要援護者自らも災害時に初期消火や応急手当などが出来るように、地域で協力して災害時要援護者参加型の防災訓練を。
- 災害時要援護者の支援について、地域住民間で問題意識を持ち、また、理解してもらうために地域主体で住民の意識啓発を。



**ボランティアは
誰にでもできます！**

よいのです。それは災害だけでなく普段の暮らしの中でも出来ることです。あなたに出来るボランティア活動はたくさんあります。積極的に参加してみませんか？

災害時になると注目されるボランティア活動ですが、これは何も特別なことをするものではありません。そもそもボランティアとは「自らの意思をもって行動する」という意味で、そこに義務も強要もありません。自分が出来ることを、出来る範囲で行えば



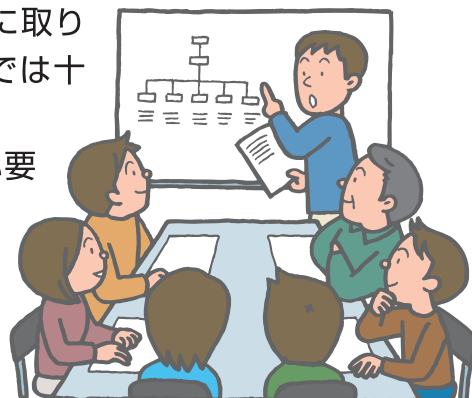
地域防災

自主防災組織で災害に強い地域づくりを

災害が発生した場合、防災関係機関は総力をあげて防災活動に取り組みますが、その活動範囲は多種多様にわたり、関係機関だけでは十分に対処できないことも考えられます。

そこで、それぞれの家庭において日ごろの備えと心構えが必要になってくるとともに、災害時には、地域ぐるみの防災活動も重要な役割を果たします。地域に住む皆様がお互いに協力し合い、地域全体の安全を守る必要があります。

このように地域の防災活動を効果的に行う組織が、自主防災組織です。いざというときに被害を最小限に食い止めるため、日ごろから自主防災組織の活動に積極的に参加し、災害に強い地域を作りましょう。



自主防災組織の平常時の活動

● 防災知識の普及

防災訓練や講習会を通じて、防災についての正しい知識を身に付けてもらう。

● 地域の安全点検

災害時、地域内に被害の発生・拡大につながる原因がないか、また援助の必要な要援護者の確認を行う。

● 家庭の安全点検

各家庭の災害時の安全対策を点検・整備する。

● 防災用資機材の整備点検

消火活動、応急手当、救出・救護、避難誘導の活動用の資機材の整備点検を行う。

● 防災訓練の実施

消火器の使用法など防災活動に必要な知識や技術習得のための訓練を行う。



自主防災組織の災害時の活動

情報班

町や消防署などから情報を収集し、住民に正確な情報を伝達する。

救出 救護班

負傷者の救出、救護所への搬送、救護活動を行う。

消火班

出火防止及び初期消火活動で火災の拡大を防ぐ。

給食・ 給水班

水・食料などの配分、炊き出しなどの給食、給水活動を行う。

避難 誘導班

安全な避難経路を通り、避難所へと誘導する。





情報伝達

避難の呼びかけに注意しましょう

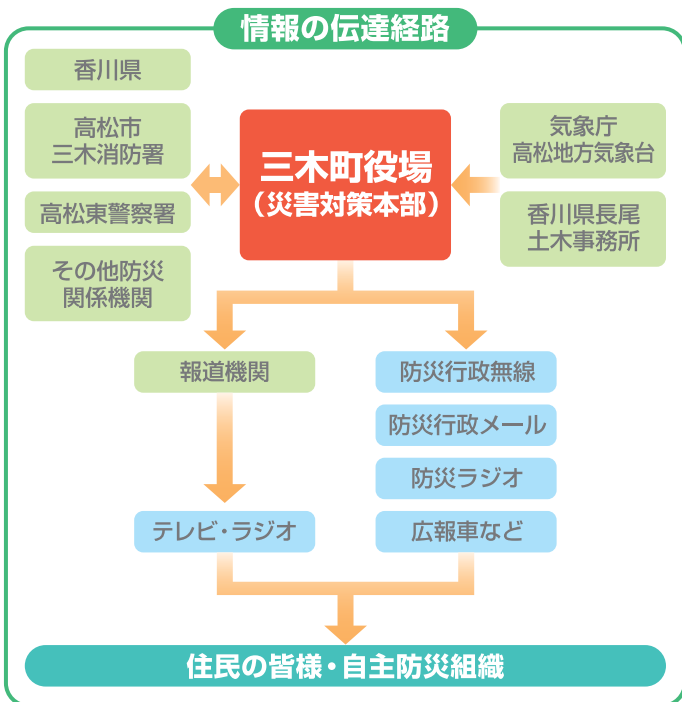
災害などの発生が予想される場合に、その状況に応じて、町から避難準備情報、避難勧告、避難指示が出されます。

緊急度	避難情報	内 容	取るべき行動
小 ↓ 中 ↓ 大	避難準備情報	危険予想地域の住民に対し、避難のための準備と事態の周知を行う必要がある場合。	いつでも避難できるよう、直ちに避難の準備をしてください。ラジオやテレビの放送、広報車などによる連絡に注意しましょう。
	避難勧告	当該地域又は土地、建物などに災害が発生するおそれがある場合。	お互い助けあって指定された避難所に速やかに避難をはじめましょう。
	避難指示	状況がさらに悪化し、避難すべき時機が切迫した場合又は災害が発生し、現場に残留者がいる場合。	指定された避難所に直ちに避難しましょう。

これ以外にも、自主避難があります。

避難の情報はどやって？

町では皆様に避難の情報を伝えるため以下の体制をとっています。



防災行政無線

防災行政無線は、火災、風水害、地震などの災害発生時、または災害が発生するおそれのあるときなどに住民の皆様へ情報を的確にお知らせするための情報伝達システムです。三木町では平成3年から配備し、三木町役場に親局を置き、町内30か所に屋外拡声器(屋外子局)を設置して、現在、防災情報の他に火災発生時の消防団員招集のためのサイレン吹鳴及び拡声放送も行っています。

防災行政メール

登録された住民の皆様には防災に関する情報等をメールでお届けします。

防災ラジオ

携帯電話をお持ちでないなどメール受信のできない住民の方のために、町では防災ラジオを用意し、防災情報、その他公共性の高い行政情報をお届けします。

TVテロップ

町より避難情報を各放送局に連絡し、TV画面にテロップを表示します。

日頃から防災情報の収集につとめましょう。

いざという時に備えて防災情報にふれることにつとめましょう。



防災情報が掲載されているインターネットのサイト

- 三木町防災情報 <http://www.town.miki.lg.jp/kurashi/bousai.html>
- 香川県防災・国民保護情報 <http://www.pref.kagawa.jp/bosai/>
- 河川水位情報 <http://www.pref.kagawa.jp/bosai/sbo/suii/index.html>
- 高松地方气象台 <http://www.osaka-jma.go.jp/takamatsu/takama01.html>



わが家の防災メモ

突然にやってくる災害、あわてないためにすぐ記入しよう!

住所			
氏名		電話	

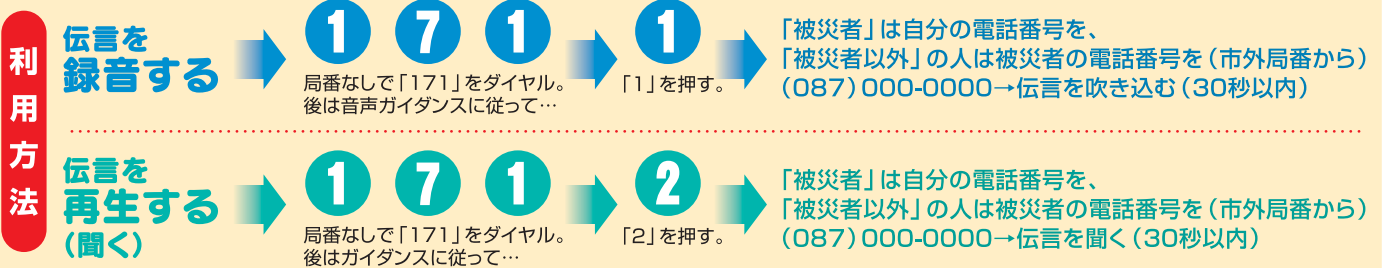
【緊急】連絡先	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号		
【家族】データ	氏名	電話(連絡先・学校)	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬
【親戚・知人】連絡先	氏名	電話(連絡先)	住所	メモ(家族との関係)		

避難所 〔2か所以上決めましょう。〕	① ----- ②	家族が離ればなれになったときの集合場所
-----------------------	-----------------	---------------------



災害用伝言ダイヤル 171

災害発生時(震度6弱以上の地震など)に稼働するNTTの災害用伝言ダイヤルサービス。家族や友人が被災した場合の安否確認や連絡に役立ちます。



※災害用伝言ダイヤルサービスの開始はテレビ、ラジオなどで通知されます。
※一般加入電話(ダイヤル・プッシュ式)、公衆電話、携帯電話・PHS(共に一部事業所を除く)で利用できます。

災害用伝言ダイヤル「171」に関するお問い合わせは、局番なしの「161」番、またはお近くのNTT支店・営業所窓口へ



非常持出品・連絡先

すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。

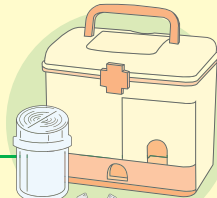


飲料水

ペットボトル入りは持ち運びに便利。
(1人1日約3リットル)

救急薬品

消毒薬やばんそうこうなど。
持病のある人は常備薬も。

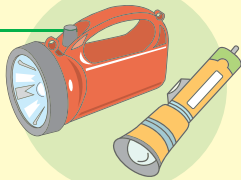


- 飲料水
- 非常食
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ・防災ラジオ
- 救急薬品
- ヘルメット(防災ずきん)
- その他
- 防災ガイドマップ

チェック
しよう!!

懐中電灯

停電時や夜間の避難
には必需品。
(防災ラジオは照明機能付)



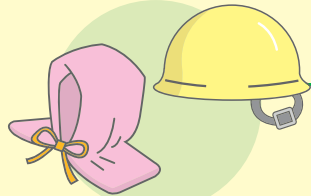
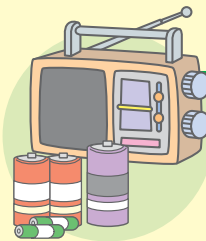
非常食

調理せずに食べられる物。
賞味期限をチェックして定期的に交換を。



携帯ラジオ・防災ラジオ

FM、AMの両方聴けるタイプを。
予備の電池も忘れずに。

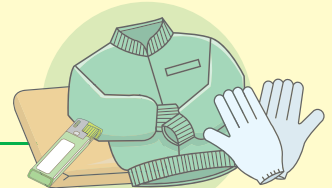


ヘルメット(防災ずきん)

飛来物や落下物、転倒事故か
ら頭部を守るため。

その他

現金(公衆電話用の小銭も用意)、オイルライター、身分証明書のコピー、軍手、衣類など。



	名 称	電 話 番 号	名 称	電 話 番 号
困ったときの 連絡先	三木町役場	087-891-3300(代)	四国電力(株)高松支店 フリーダイヤル	087-831-0211 0120-410-761
	高松東警察署	110 又は 087-898-0110	NTT西日本 (局番なしの) (携帯電話・PHSからは)	113 又は 0120-444-113
	高松市三木消防署	119 又は 087-898-4119	香川県長尾土木事務所	0879-52-2585

三木町防災ラジオで防災情報をキャッチして安心安全な生活を!!

特 徴

- ・設置場所や持ち運びに便利な小型軽量タイプ。
- ・町内であれば、転居してもそのまま利用可能。
- ・電源は乾電池(単三アルカリ電池3本)、家庭用電源(ACアダプター)を使用。
- ・日常は、電源を入れておくだけで自動受信。
- ・AM・FMチューナー内蔵でラジオ放送を聞くことが可能。
- ・AM・FM放送を聞いている最中でも、三木町防災行政無線の放送があると自動で切り替わり、放送を受信。
- ・原則、町内でFM放送が聞ける場所であれば三木町防災行政無線の放送が受信可能。
- ・白色LEDを内蔵しており、非常時には照明ランプとして利用可能。



負担額

個人：1台 1,500円／事業所：1台 3,000円 (※2台目も同額)



宝くじは、広く社会に役立てられています。

発行：三木町役場総務課

〒761-0692 香川県木田郡三木町大字氷上310番地
TEL (087) 891-3300(代) FAX (087) 898-1994
<http://www.town.miki.lg.jp/>